

国土強靭化と地域経済の発展のための 「日本海国土軸」の形成と「環日本海交流」の推進 に関する特別決議

日本海沿岸地域は、無限の魅力を秘めた日本海に面し、豊かな自然や文化、優れた人材に恵まれるなど、極めて高い発展の可能性を有している。また、対岸諸国に向けて地理的優位性を有し、環日本海・アジア諸国との経済・文化等の交流が活発化し、環日本海交流圏の形成が進みつつある。

しかし、太平洋沿岸地域に偏った一極一軸型の国土構造は依然として是正されず、日本海沿岸地域と太平洋沿岸地域の格差の解消は大きな課題である。

東日本大震災の教訓や、今後発生が想定される首都直下地震、南海トラフ巨大地震の大規模な被災想定などを受け、政府においては、多極分散型の国土の形成や複数国土軸の形成と物流ネットワークの複線化を進め、国土全体の強靭化を図るとともに、その取組みを地域経済の中長期的発展の呼び水とし、雇用を創出するとされている。

こうしたことを踏まえ、太平洋側のリダンダンシーの確保、災害に強い多軸型の国土づくり、地域経済の発展の観点から、日本海沿岸地域を戦略的に位置付け、道路・港湾・空港などの社会資本整備等による「日本海国土軸」の形成を早急に進めることが極めて重要である。

については、こうした日本海沿岸地域の実情を踏まえ、国において次の事項を実施することを提言する。

記

1 大規模災害等に備えた強靭な国づくりのための「日本海国土軸の形成」に向けた社会資本の整備促進と、防災・減災のための災害に強い国土づくりの推進

- (1) 日本海沿岸地域相互間及び日本海側と太平洋側を結ぶ高規格幹線道路や地域高規格道路のミッシングリンクの解消と暫定2車線区間の4車線化、新幹線や幹線鉄道など高速交通体系の整備促進
- (2) 太平洋側港湾の代替ともなる日本海側拠点港等の整備と、クルーズの推進や国際複合一貫輸送網の構築、C I Q職員の適正配置等港湾機能の一層の充実
- (3) 災害時の防災拠点にもなる地方空港の整備や、国内・国際航空ネットワークの充実、C I Q職員の適正配置等空港の機能強化
- (4) 地震・津波対策の強化、治山治水・土砂災害対策、高波・海岸保全対策、橋梁・港湾・農業水利施設等の長寿命化・老朽化対策など、災害につよい強靭な国土づくりの推進
- (5) ガスパイプライン網や広域的なエネルギー供給拠点となる日本海側基地の整備、再生可能エネルギー導入拡大に向けた送電網の整備などエネルギー基盤整備の推進及び日本海沖におけるメタンハイドレート等の海洋エネルギー資源開発の推進

2 日本海沿岸地域の安全と安心の確保

- (1) 漂流・漂着物対策など日本海の海洋環境保全の推進や、黄砂、PM2.5等への対策など環日本海地域の環境保全の推進
- (2) 放置座礁船や船舶等からの危険物流出対策、沈下コンテナへの対応、領海侵犯対策など海洋上の安全対策の推進
- (3) 原子力発電所の安全確保対策等の充実と原子力防災対策の見直し
- (4) 再生可能エネルギーの導入促進などエネルギー対策の推進と海洋エネルギー資源開発の推進
- (5) 食の安全・安心の確保
- (6) 総合的な雪対策の推進
- (7) 多発する災害の復旧・復興事業の推進

3 環日本海交流圏の形成促進

- (1) 幅広い分野での国際交流・協力事業への支援の充実
- (2) 日本海の総合的な開発利用や研究の推進

4 産業振興等による活力ある地域づくりの推進

- (1) 攻めの農林水産業の構築に向けた実効性ある施策の推進と支援の充実
- (2) 緑の国土軸に資する森林の多面的機能の持続的な発揮や林業・木材産業の振興
- (3) 漁業生産の確保や水産業の振興
- (4) 日本海側への戦略的な企業立地の推進に向けた支援や中小企業対策、中山間地域振興対策の推進
- (5) 情報通信機能の高度化の推進
- (6) 高等教育機関や研究・文化施設等の整備などへの支援

5 地方の振興施策実施のための地方税財政制度の確立

地方一般財源の総額の確保や、地球温暖化のための税の一部を地方税源化するなど、すべての地方団体が自立できる真の意味での地方分権の実現に向けた地方税財政制度の確立

以上、決議する。

平成25年6月5日

日本海沿岸地帯振興連盟



「日本海国土軸」の形成と「環日本海交流」の推進に関する

特 別 決 議



設立 昭和39年

会員 青森県、秋田県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県、山口県の本州の日本海沿岸12府県の知事、府県議會議長、市町村長代表、市町村議會議長代表、経済・産業団体代表

世話人代表 富山県知事 石井 隆一

平成25年6月



日本海沿岸地帯振興連盟